第1581号　(昭和21年8月6日第三種郵便物認可)　京都大学新聞　昭和47年(1972)8月21日　月曜日　(毎週月曜日発行)

京都大学新聞
学生団体
京都大学新聞社
京都市左区吉田
京都大学構内
(761)2054 直通
(751)2111 (内線2571)
郵便・京都3909
(1部30円 1年間1,000円)

全学新リーダーズ・キャンプ 基調報告(骨子)

全日本学生新聞連盟書記局

全日本学生新聞連盟(全学新)書記局は、九月十五・十六日に福岡大学において、第二回全学新リーダーズ・キャンプを開催することを発表した。

七月廿二日の全学新第四回全国大会で採択された「学生新聞の発刊に関する基本方針」は、「学生運動の現状を踏まえ、学生新聞の発刊を通じ、学生運動の革命的再構築をめざす」ものであり、「学生新聞の発刊は、学生運動の革命的再構築をめざす運動であり、学生運動の現状を踏まえ、学生新聞の発刊を通じ、学生運動の革命的再構築をめざす」ものであり、「学生新聞の発刊は、学生運動の革命的再構築をめざす運動であり、学生運動の現状を踏まえ、学生新聞の発刊を通じ、学生運動の革命的再構築をめざす」ものである。

全学新リーダーズ・キャンプは、全学新運動の革命的再構築をめざす運動の一環として、学生新聞の発刊・学生新聞運動の発展のための基本方針を確立するとともに、学生新聞の発刊を通じ、学生

東欧・ソ連圏と世界資本主義

―70年12月ポーランド労働者決起を中心に

石川錬治郎

はじめに

事実経過と問題点

ベトナム戦争の激烈な軍事的衝撃は、米中、米ソ会談、帝国主義諸国間の配分問題を多角的に相対化し、国際緊張を緩和する動向を生んでいる。「二国」において資本主義復活を示す自国の経済力、国際的プレゼンスの増大を誇示しようとする東欧諸国の動向は、先進帝国主義諸国の経済的、政治的、軍事的パワーの相対的低下と、その「衰退」を浮彫りにする。

本稿は、その一環として、70年12月のポーランド労働者決起の意味するものを、「新五ヶ年計画」の挫折を中心に、現在における資本主義復活の問題点を考える。

主題の解明に当り、東欧諸国の経済的発展の現状を、「新五ヶ年計画」の挫折と、ポーランド、ソ連、東欧スターリン主義諸国家の対外政策、国際的パワーの相対的低下、ベトナム戦争の国際的影響、ヨーロッパ安全保障会議の動向、ECの動向、ECとソ連・東欧諸国との関係、ECとアメリカとの対立、ECとアジア諸国との関係、ECとアフリカ諸国との関係、ECとラテンアメリカ諸国との関係、ECと日本との関係、ECと中国との関係、ECと中東との関係、ECと国際通貨問題との関係、ECと国際金融資本との関係、ECと国際資本との関係、ECと国際労働者との関係、ECと国際共産主義運動との関係、ECと国際社会主義との関係、ECと国際革命との関係、ECと国際反革命との関係、ECと国際ファシズムとの関係、ECと国際反ファシズムとの関係、ECと国際平和運動との関係、ECと国際民主主義運動との関係、ECと国際民族解放運動との関係、ECと国際民族主義との関係、ECと国際民族排外主義との関係、ECと国際民族分離主義との関係、ECと国際民族統一主義との関係、ECと国際民族自決主義との関係、ECと国際民族自治主義との関係、ECと国際民族連邦主義との関係、ECと国際民族共和主義との関係、ECと国際民族共産主義との関係、ECと国際民族社会主義との関係、ECと国際民族資本主義との関係、ECと国際民族帝国主義との関係、ECと国際民族植民地主義との関係、ECと国際民族半植民地主義との関係、ECと国際民族新植民地主義との関係、ECと国際民族ファシズムとの関係、ECと国際民族反ファシズムとの関係、ECと国際民族平和運動との関係、ECと国際民族